

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 区国語 科目 言語文化

教科: 国語 科目: 言語文化 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 M1 組～ S 組

教科担当者: (M1組: 播摩) (M2組: 播摩) (E組: 大島) (A組: 播摩) (S組: 播摩)

使用教科書: (東京書籍 新編言語文化)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		話・聞	書	読						
1 学 期	A 現代文 【知識及び技能】引用や体験談に注意しながら日本独特の桜に対する感性について理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】現代の言語文化に息づく古典常識に興味を持ち、語感を磨くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 随筆(短歌) ・教材 俵万智「さくらさくらさくら」 ・一人1台端末の活用			○					5
	B 現代文 【知識及び技能】構成や展開、表現の仕方、特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】会話や行動の描写に注目して登場人物の心情とその変化を読み取ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする。言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 小説 ・教材 三浦哲郎「とんかつ」 ・一人1台端末の活用			○					8
	定期考査									1
	C 古文 【知識及び技能】古典を読むために必要なきまりや、表現を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 古文入門 ・教材 「児のそら寝」「絵物師良秀」『宇治拾遺物語』より ・一人1台端末の活用			○					8
	D 古文 【知識及び技能】文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】作品の成立した背景や他作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 古文物語 ・教材 「芥川」『伊勢物語』より ・一人1台端末の活用			○					7
定期考査									1	
E 漢文 【知識及び技能】漢文を読むために必要なきまりや表現を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむことができる。 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・指導事項 訓読の基本 ・教材 訓読、格言、再読文字			○					6	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学

科目：数学Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 M1 組～ S 組

教科担当者：（M1組：山田）

（M2組：山田）

（E組：山田）

（A組：山田）

（S組：山田）

（組： ）

使用教科書：（高等学校 数学Ⅱ 数研出版）

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
<p>単元 式と計算</p> <p>【知識及び技能】 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をすること。 多項式の除法や分数式の四則計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 三次の乗法公式やパスカルの三角形のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導項目 3次式の展開と因数分解 パスカルの三角形 多項式の割り算 分数式とその計算</p> <p>・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版）</p> <p>・一人1 台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など</p>	<p>【知識・技能】 ○3次式の展開の公式、3次式の因数分解の公式を利用することができる。 ○式の形に着目して変形し、3次式の因数分解の公式を適用する形にすることができる。 ○$(a+b)^n$の展開式からパスカルの三角形を導き、パスカルの三角形の性質を理解する。 ○パスカルの三角形を利用して、展開式やその項の係数を求めることができる。 ○多項式の割り算の計算方法や割り算で成り立つ等式を理解し、利用することができる。 ○2種類以上の文字を含む多項式の割り算を行うことができる。 ○分数式の約分、四則計算ができ、既約分数式または多項式の形にして表現することができる。 ○繁分数式を簡単にすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○数学Ⅰで既習の2次式の展開公式を利用して、3次式の展開公式を導くことができる。 ○多項式の割り算の結果を等式で表して考えることができる。 ○2種類以上の文字を含む多項式の割り算を、1つの文字に着目することで、1文字の場合と同様に考えることができる。 ○分数式を分数と同じように約分、通分して扱うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○三次の乗法公式やパスカルの三角形、多項式の割り算、分数式のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。 ○三次の乗法公式やパスカルの三角形、分数式を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>	○	○	○	12
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>単元 複素数と2次方程式の解</p> <p>【知識及び技能】 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 二次方程式の解の種類の判別及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 複素数や2次方程式の解と係数の関係のよさを認識し活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導項目 複素数とその計算 2次方程式の解 解と係数の関係</p> <p>・教材 高等学校 数学Ⅱ（数研出版） REPEAT 数学Ⅱ+B（数研出版）</p> <p>・一人1 台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など</p>	<p>【知識・技能】 ○複素数、複素数の相等の定義を理解し、複素数の四則計算ができる。 ○負の数の平方根を理解し、負の数の平方根を含む式の計算を、iを用いて処理することができる。 ○2次方程式の解の公式を利用して、2次方程式を解くことができる。 ○判別式を利用して、2次方程式の解の種類を判別することができる。 ○解と係数の関係を使って、対称式の値や2次方程式の係数を求めることができる。 ○対称式を基本対称式で表して、式の値を求めることができる。 ○2次方程式の解を利用して、2次式を因数分解できる。 ○和と積が与えられた2数を、2次方程式を解くことにより求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○複素数の表記を理解し、複素数$a+0i$を実数aと同一視できる。 ○複素数の四則計算の結果は複素数であることを理解している。</p>	○	○	○	12

			<p>○判別式 D の代わりに D/4 を用いても解の種類を判別できることを理解し、積極的に用いようとする。</p> <p>○与えられた2数を解にもつ2次方程式が1つには定まらないことを理解している。</p> <p>○異なる2つの実数 α, β が正の数, 負の数, 異符号であることを, 同値な式で表現できる。</p> <p>○2次方程式の解の符号に関する問題を, 解と係数の関係を利用して解くことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○複素数や解と係数の関係のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p> <p>○複素数や解と係数の関係を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>						1	
定期考査										1
単元 高次方程式	<p>【知識及び技能】</p> <p>因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定理などを用いてその解を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>剰余の定理や因数定理のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 剰余の定理 因数定理 組み立て除法 高次方程式</p> <p>・教材 高等学校 数学Ⅱ(数研出版) REPEAT 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○剰余の定理を利用して、多項式を1次式や2次式で割ったときの余りを求めることができる。</p> <p>○$P(k)=0$ である k の値の見つけ方を理解し、高次式を因数分解できる。</p> <p>○因数分解や因数定理を利用して、高次方程式を解くことができる。</p> <p>○高次方程式の2重解, 3重解の意味を理解している。</p> <p>○高次方程式の虚数解から、方程式の係数を決定することができる。</p> <p>○高次方程式が虚数解 $a+bi$ を解にもつば、$a-bi$ を解にもつことを利用できる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○多項式を1次式で割ったときの余りについて、剰余の定理で考察することができる。</p> <p>○多項式 $P(x)$ が $x-k$ で割り切れることを式で表現することができる。</p> <p>○高次方程式を1次方程式や2次方程式に帰着させることができる。</p> <p>○高次方程式が解 α をもつことを、式を用いて表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○剰余の定理や因数定理のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p> <p>○剰余の定理や因数定理を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>						13	
単元 点と直線①	<p>【知識及び技能】</p> <p>座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>内分点・外分点や2点間の距離の求め方のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度を養う。</p>	<p>・指導項目 直線上の点 平面上の点</p> <p>・教材 高等学校 数学Ⅱ(数研出版) REPEAT 数学Ⅱ+B(数研出版)</p> <p>・一人1台端末の活用 教科書の動画コンテンツや課題の提出など</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○数直線上において、2点間の距離、線分の内分点、外分点の座標が求められる。</p> <p>○線分の外分点の公式を適用する際に、分母を正にして計算しようとする。</p> <p>○座標平面上において、2点間の距離が求められる。</p> <p>○座標平面上において、線分の内分点、外分点の座標が求められる。</p> <p>○三角形の重心の座標の公式を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○線分の内分点、外分点の公式を統一して捉えようとする。</p> <p>○図形の性質を証明する際に、計算が簡単になるように座標軸を適切に設定できる。</p> <p>○点の座標を求めるのに、図形の性質を適切に利用できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○内分点・外分点の求め方や2点間の距離の考え方のよさを認識し、考察や問題解決に活用しようとしている。</p> <p>○内分点・外分点の求め方や2点間の距離の考え方を活用した問題解決において、粘り強く考え、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。</p>							
定期考査										1

蔵前工科高等学校 令和6年度（2学年用）外国語

科目 英語コミュニケーションⅡ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：

単位

対象学年組：第2学年 M1組～ S科

教科担当者：（M1組：松本 （M2組：松本 ）（E科：唐澤 ）（A科：松本 （S科：松本 ）

使用教科書：（All Aboard! English CommunicationⅡ ）

教科 外国語

の目標：

【知識及び技能】

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の動きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語Ⅰで学んだことを使い、多くの支援を活用すれば日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手や書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、文章を書いて伝えたりすることができる。	日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取るようしたり、話し手や書き手の意図を把握しようしたり、概要や要点を目的に応じて捉えようしたり、また基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えようしたり、文章を書いて伝えようたりすることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ） 書						
1 学 期	Lesson1 A Colorful Island 【知識及び技能】関係代名詞whatを用いた文の形・意味を理解させる。海外の観光地について学び、行ってみたい場所やそこでやりたいことについて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】海外の観光地に関して書かれた文章について、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】海外で行ってみたい場所などについて情報や考え、気持ちなどを話したり書いたりして伝え合おうとさせる。	【題材内容】イタリヤのプラーノ島への旅行を報告するSNSを通して、その島の特色について学習する。 【言語材料】関係代名詞：what 【言語活動】海外で行ってみたい場所について、英語で述べることができる。	○	○	○	○		○	○	○	12
	Lesson2 With the Beatles 【知識及び技能】比較表現（more）（the most）を用いた文の形・意味を理解させる。好きな人物について自分で調べた事柄を用いて、理由などを話して伝え合う技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】好きな人物について、相手の意見を知り、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】学んだ内容を活用し、好きな人物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、好きな理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。	【題材内容】曲をリクエストしたラジオ番組の聴取者とディスクジョッキーの対話を通して、世代を超えて人気のあるバンドについて学習する。 【言語材料】比較表現：more, the most 【言語活動】世代を超えて人気のある人物について、英語で述べるができる。	○	○	○	○		○	○	○	12
	定期考査		○			○		○	○	○	1
2 学 期	Lesson3 Wild Men 【知識及び技能】itを用いた文（It is …to～）（It is …that～）の形・意味を理解させる。「ワイルドマン」について学んだり、身近な行事について自分で調べた事柄を用いて、情報や考えなどを伝え合う技能を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】「ワイルドマン」について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】身近な行事について、情報や考えなどを話したり書いたりして伝え合おうとさせる。	【題材内容】ヨーロッパの国々の祭りに登場する「ワイルドマン」についてのスピーチを通して、人間社会と自然について考える。 【言語材料】itの用法 【言語活動】身近な行事について、英語で紹介することができる。	○	○	○	○		○	○	○	13
	定期考査		○			○		○	○	○	1

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 M1組～ S組

教科担当者：（M1組：竹内）（M2組：竹内）（E組：竹内）（A組：竹内）（S組：竹内）

使用教科書：（『高等学校 歴史総合』（第一学習社））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の過程について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 世界と日本の歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連などを多面的・多角的に考察し、社会に見られる課題の解決に向けて構想する力や、効果的に説明したり、それらを基に議論できる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 世界と日本の地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現のため、課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察や深い理解を通して日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史や地域の変化に関わる諸事象を軸に、世界と日本の相互的なつながりなどをとらえた上で、近現代の歴史を理解している。 ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論できる力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
歴史の扉 【知識及び技能】 日本と世界の地域的な関わりや繋がりについて、諸資料を活用して理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 複数の資料を活用して、世界と日本との歴史的・地域的な繋がりについて、考察し表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決させる活動を行う。	第1部 歴史の扉 ①歴史と私たち ②歴史の特質と資料 第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 近代化への問い	【知識・技能】 日本や世界の様々な地域の歴史的な遺物、文書、図像などの資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解した上で、歴史的・地域的な繋がりを理解できている。 【思考・判断・表現】 日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について、複数の資料の関係や異同に着目し、そこから読み取った内容や特色などを考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	6
近現代の世界と日本 【知識及び技能】 18世紀のアジア地域における生産と流通、アジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、当時のアジアの社会経済を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を比較分析して、18世紀のアジア地域及び世界の交易の特徴を考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、当時の特徴を主体的に追究する。	第2部 近現代の世界と日本 第1章 近代化と私たち 1 18世紀のアジアの繁栄 2 18世紀の東アジアの経済と社会 ・テーマ1 FOCUS	【知識・技能】 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済を理解できている。 【思考・判断・表現】 統計データや地域の歴史の変遷を表す地図などを活用し、18世紀のアジア地域及び世界の交易の特徴を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 選択・判断の手掛かりとなる考え方を使得って、当時の特徴について主体的に追究できている。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
1学期 農業社会から工業社会へー産業革命 【知識及び技能】 産業革命による工業化と世界市場の形成を理解させた上で、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向についても理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸革命に関わるデータや宣言文などの諸資料を比較分析し、当時の社会の変化の変遷について、多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸革命の前後の社会状況について、その特徴を主体的に追及させる。	・第2節 農業社会から工業社会へー産業革命 3 アメリカ独立革命 4 フランス革命 5 イギリスに挑戦したナポレオン 6 大西洋をこえて広がった革命 ・モノから学ぶ歴史「綿」	【知識・技能】 産業革命による工業化と世界市場の形成を理解した上で、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向についても理解できている。 【思考・判断・表現】 統計データに加え、独立宣言文や法律条文などの諸資料を比較分析し、当時の社会の変化の変遷について、多面的・多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸革命の前後の社会状況について、その特徴を主体的に追及できている。	○	○	○	6
イギリスの繁栄と国民国家の拡大、アジア諸国の変貌と日本の開国 【知識及び技能】 産業革命による工業化とアジアを含めた世界市場の形成を理解させるとともに、18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向についても理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 地域の変遷など、地理的な視点から革命や市場形成の特徴などについて、多面的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に追及させる。	・第3節 イギリスの繁栄と国民国家の拡大 1 イギリスの繁栄 2 後発国による「上からの近代化」 3 ロシアの近代化と南下政策 4 アメリカ合衆国の膨張 ・第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 3 東アジアの動揺 モノから学ぶ歴史「砂糖」 ・FOCUS	【知識・技能】 欧米の市民革命や国民統合の動向、それにもなうアジア政策などを軸に、日本の政治体制の変化や東アジアが変化していく過程を理解できている。 【思考・判断・表現】 地域の変遷など、地理的な視点から革命や市場形成の特徴などについて、多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に追及できている。	○	○	○	8
定期考査			○	○	○	1
アジア諸国の変貌と日本の開国 【知識及び技能】 18世紀後半以降のアジア情勢や日本の明治維新、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 条文や当時の状況を示す絵画・風刺画などを活用して、立憲体制などの特徴について、多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・第4節 アジア諸国の変貌と日本の開国 4 東アジアの情勢と改革 5 明治初期日本の外交と東アジアの国際秩序 6 日本の立憲国家への道のり ・FOCUS ・テーマ3	【知識・技能】 18世紀後半以降のアジア情勢や日本の明治維新、大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解できている。 【思考・判断・表現】 条文や当時の状況を示す絵画・風刺画などを活用して、立憲体制などの特徴について、多角的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6

	いて、多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に追及させる。		諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に追及できている。					
	帝国主義の発展 【知識及び技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義政策の背景や、アジア・アフリカに与えた影響などに着目し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義の様子を示す資料や、戦争関係の資料を活用して、当時の特徴について主体的に追及させる。	・第5節 帝国主義の発展 1 帝国主義の時代 2 列強の世界政策 3 日清戦争と中国分割 4 日露戦争とアジア モノから学ぶ歴史－鉄道	【知識・技能】 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解できている。 【思考・判断・表現】 帝国主義政策の背景や、アジア・アフリカに与えた影響などに着目し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義の様子を示す資料や、戦争関係の資料を活用して、当時の特徴について主体的に追及できている。	○	○	○	6	
2 学期	定期考査			○	○	○	1	
	帝国主義の発展 【知識及び技能】 日本の工業化とそれともなう帝国主義政策について、アジア諸国への影響と関連性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 諸地域における帝国主義政策の影響に着目し、各国の動向を比較したり、相互の関連づけを行い、日本を含めた帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に整理し追及させる。	・第5節 帝国主義の発展 高揚 5 日本の工業化と社会運動の 6 日本の帝国主義と東アジア近代化と現代的な諸課題 ・資料で整理－帝国主義とその影響 ・モノから学ぶ歴史－船と移民	【知識・技能】 日本の工業化とそれともなう帝国主義政策について、アジア諸国への影響と関連を理解できている。 【思考・判断・表現】 アジア・アフリカ地域における帝国主義政策の影響に着目し、各国の動向を比較したり、相互の関連づけを行い、日本を含めた帝国主義政策の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 諸資料の比較や分析を通じて、当時の地理的・歴史の変遷を主体的に整理し追及できている。	○	○	○	6	
	国際秩序の変化や大衆化と私たち 【知識及び技能】 第一次世界大戦前後の展開や各国の外交体制の過程を理解させた上で、戦後の国際協調体制の変遷や各国の社会情勢の変化についても理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の推移と戦後の国際協調体制との繋がり及び日本への影響などに着目し、当時の特徴や社会情勢の推移について多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 条約や戦争に関する諸資料を活用して、当時の社会情勢の歴史の変遷・地理的変遷を追求させる。	第2部 第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち 第1節 第一次世界大戦と大衆社会 1 第一次世界大戦 2 ロシア革命とソ連の成立 3 ヴェルサイユ＝ワシントン体制 5 東アジアの民族運動と日本 7 大正デモクラシーと日本社会の変化 資料で整理－第一次世界大戦とその影響 テーマ4－情報通信技術とマスメディアの発達	【知識・技能】 第一次世界大戦前後の展開や各国の外交体制の過程を理解できている。また、戦後の国際協調体制の変遷と、各国の大衆社会の形成や社会運動の拡大についても理解できている。 【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と戦後の国際協調体制との繋がり及び日本への影響などに着目し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、当時の特徴や社会情勢について多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 条約や戦争に関する諸資料を活用して、当時の社会情勢の歴史の変遷・地理的変遷を追求できている。	○	○	○	6	
	定期考査			○	○	○	1	
	経済危機と第二次世界大戦 【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制のゆらぎを理解できている。また、第二次世界大戦前後の国際秩序の変遷についても理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界恐慌、ファシズム、第二次世界大戦の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付け、多面的・多角的に考察し、表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 戦争や当時の中心的な人物に関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組ませる。	第2節 経済危機と第二次世界大戦 1 世界恐慌 2 ファシズム・軍部の台頭 3 ファシズムの対外侵略と国際秩序の変化 4 日中戦争の開始と戦時体制下の日本 5 第二次世界大戦の開始 6 第二次世界大戦の終結 ・資料で整理－国際協調体制の動揺	【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制のゆらぎを理解できている。また、第二次世界大戦前後の国際秩序の変遷についても理解できている。 【思考・判断・表現】 世界恐慌、ファシズム、第二次世界大戦の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付け、多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 戦争や当時の中心的な人物に関する諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動に主体的に取り組むことができている。	○	○	○	12	
3 学期	第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 【知識及び技能】 第二次世界大戦後の国際連合と国際経済体制の動き、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 第二次世界大戦後の国際社会の動向及びその後の社会情勢の変化についての課題を追究したり、解決したりする活動に主体的に取り組ませる。	・第3節 第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序の形成 1 国際連合と国際経済体制 2 冷戦の開始とアジアへの波及 3 敗戦国の戦後改革と日本国憲法の制定 4 平和条約と日本の独立回復 ・資料で整理－第二次世界大戦の戦後処理と新たな国際秩序 ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	【知識・技能】 第二次世界大戦後の国際連合と国際経済体制の動き、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解できている。 【思考・判断・表現】 第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦後の国際社会の動向及びその後の社会情勢の変化についての課題を追究したり、解決したりする活動に主体的に取り組むことができる。	○	○	○	4	
							合計	
				○	○	○	70	

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 理科 科目 化学基礎

教科： 理科 科目： 化学基礎 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 2 学年 M1 組～ S 組

教科担当者： (M1組：上田遥葵) (M2組：上田遥葵) (E組：上田遥葵) (A組：上田遥葵) (S組：上田遥葵)

使用教科書： (数研出版 新編化学基礎)

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている	物質とその変化から問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	物質とその変化や現象に主体的に関わり見通しをもったり振り返ったりするなど科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
1 学 期	多種多様な物質を観察することによって、それらを整理・分類する。共通した要素や、個々の相違点を調べることによって、物質の成りたちを追求する。	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 1 混合物と純物質 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	【知識・技能】 ・混合物を分離する操作として、ろ過、蒸留、分留、昇華法、再結晶、抽出、クロマトグラフィーなどの方法をあげることができる。 【思考・判断・表現】 ・いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。	○	○	○	9
	物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子と、原子から生じるイオンや原子が種々の方法で結合した物質について、その構造や表し方、それらの関係を学ぶ。	第2章 物質の構成粒子 1 原子とその構造 2 イオン 3 元素の周期表	【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子と、原子から生じるイオンや原子が種々の方法で結合した物質について、その構造や表し方、それらの関係を学ぶ。	第2章 物質の構成粒子 3 元素の周期表	【知識・技能】 ・原子の構成粒子である陽子・中性子・電子の個数・電荷・質量の関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・イオンの化学式が正しく書け、化学式でかかれたイオンの名称がわかる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各元素の特徴および周期表上の元素の配列について興味をもつ。	○	○	○	4
	物質が連続性をもたない小さな粒子からなることは中学校で学習しているが、個々の粒子がどのようなしくみで結合しているかは、簡単に触れただけで終わっている。ここでは、それらをさらに詳しく扱うことによって、物質の性質との関連も同時に学ぶ。	第3章 粒子の結合 1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 共有結合の結晶 4 金属結合と金属	【知識・技能】 ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質特有の性質に興味をもつ。	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
2 学 期	物質が連続性をもたない小さな粒子からなることは中学校で学習しているが、個々の粒子がどのようなしくみで結合しているかは、簡単に触れただけで終わっている。ここでは、それらをさらに詳しく扱うことによって、物質の性質との関連も同時に学ぶ。	第3章 粒子の結合 1 イオン結合とイオンからなる物質 2 分子と共有結合 3 共有結合の結晶 4 金属結合と金属	【知識・技能】 ・イオン結晶を構成する陽イオンと陰イオンの種類から、イオン結晶の名称と組成式を書く方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子間の共有結合を考えることによって分子の構造を予想することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・物質特有の性質に興味をもつ。	○	○	○	7
	物質の質量と、物質を構成する原子・分子・イオンなどの質量や数との関係を学ぶ。気体についてはさらに体積との関係を学び、化学の学習に欠かすことのできない物質の考え方を身につける。	第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 1 原子量・分子量・式量 2 物質質量 3 溶液の濃度	【知識・技能】 ・原子の相対質量をもとに、分子や分子をつくらないものの質量を考えることができる。 【思考・判断・表現】 ・モル質量の概念を使い、粒子の数・質量と物質質量に関する計算ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 M1 組～ S 組

教科担当者： (M1組：永沢・内野) (M2組：永沢・内野) (E組：内野・渡辺) (A組：内野・伊坂) (S組：内野・伊坂)

使用教科書： (現代高等保健体育：大修館書店)

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続させるための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標： 生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解できるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動 ※通年で実施していく。 <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、プリント、各用具 <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動に主体的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切に使用とすること、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保しようとしている。 	○	○	○	
<p>F 武道</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などをを用いた攻防を展開することができるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動 剣道 <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、プリント、各用具 <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方や、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などをを用いた攻防を展開することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保している。 	○	○	○	9
<p>E 球技</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 	<p>○指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動 ハンドボール <p>○教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書、プリント、各用具 <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとするなどや、健康・安全を確保している。 	○	○	○	9

1 学期

<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・背泳ぎ、バタフライ</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	6
<p>H 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・豊かなスポーツライフの設計</p> <p>○教材 ・教科書、プリント</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、理解できる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、よりよい解決に向けて試行し判断するとともに、他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展、運動やスポーツの効果的な学習の仕方、豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に自主的に取り組んでいる。</p>	○	○	○	2
<p>D 水泳</p> <p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・背泳ぎ、バタフライ</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・記録の向上や競争及び自己や仲間の課題を解決するなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、自己に適した泳法の効率を高めて泳ぐことができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	6
<p>F 武道</p> <p>【知識及び技能】 ・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などをを用いた攻防を展開することができるようにする。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>○指導事項 ・体づくり運動 ・剣道</p> <p>○教材 ・教科書、プリント、各用具</p> <p>○一人1 台端末の活用等</p>	<p>【知識及び技能】 ・勝敗を競ったり自己や仲間の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、伝統的な考え方、技の名称や見取り稽古の仕方、体力の高め方、課題解決の方法、試合の仕方などを理解するとともに、得意技などをを用いた攻防を展開することができる。</p> <p>【思考力・判断力・表現力】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・武道に主体的に取り組むとともに、相手を尊重し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする事などや、健康・安全を確保している。</p>	○	○	○	9

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

教科: 保健体育 科目: 保健 単位数: 1 単位

対象学年組: 第2学年 M1組～S組

教科担当者: (M1組:内野) (M2組:内野) (E組:渡辺) (A組:渡辺) (S組:渡辺)

使用教科書: (現代高等保健体育:大修館書店)

教科 保健体育 の目標: 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを継続させるための資質・能力を

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標: 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身につけるように

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて試行し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	三単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めさせる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 01 ライフステージと健康 02 思春期と健康 03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康 05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康 07 中高年期と健康 ○教材 ・教科書、プリント、パワーポイント ○一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。		○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	三単元 生涯を通じる健康 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めさせる。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 08 働くことと健康 09 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 ○教材 ・教科書、プリント、パワーポイント ○一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。		○	○	4
	四単元 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解を深めさせる。 【思考力・判断力・表現力】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する力を育む。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	○指導事項 01 大気汚染と健康 02 水質汚濁、土壌汚染と健康 03 環境と健康にかかわる対策 04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性 06 食品衛生にかかわる活動 ○教材 ・教科書、プリント、パワーポイント ○一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 ・自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、生涯を通じる健康について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むことができる。		○	○	9
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（2学年用）教科 家庭 科目

教科：家庭 科目：家庭基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 M1組～S組

教科担当者：（M1組：加藤・境野）（M2組：加藤・境野）（E組：加藤・境野）（A組：加藤・境野）（S組：加藤・境野）

使用教科書：（「高等学校 家庭基礎 持続可能な未来を創つくる」第一学習社）

教科 家庭 の目標：

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けられるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けられるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けられるようにする。

科目 0 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>これからの生き方と家族</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生にはライフステージごとに課題があることを理解し、その課題に取り組むための知識を身に付ける。 家族、家庭、世帯はどう異なるのかについての知識を持っている。 自分や家族のために法令があることについて理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去から現在までの自分をみつめ直し、自分の生き方についての課題を解決するために思考・判断できるようになる。 自分にとって「家族とは何か」というテーマにもとづいて課題を見出し、解決策を考えることができるようになる。 「家族に関する法律」の概要を、実生活の場面にあてはめて考えることができるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の属する青年期は、長い生涯の一時期であることを認識し、「生きがい」をめざして意欲的に取り組もうとする姿勢が見られるようになる。 家族形態が多様化する中で、課題を明確にしつつ、家族・家庭の重要性について考えようとする姿勢が見られるようになる。 「家族に関する法律」の概要を、実生活の場面にあてはめて考えることができるようになる。 日常生活と法律とのかわりについて関心を持ち、生活の充実・向上に結びつける努力をするようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 生涯発達する自分 青年期を生きる キャリアの形成 ワーク・ライフ・バランスを求めている 家族・家庭・世帯 家族・家庭の働き 家族に関する法律 	<p>A これからの生き方と家族</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人生にはライフステージごとに課題があることを理解し、その課題に取り組むための知識を身に付けている。 家族、家庭、世帯はどう異なるのかについての知識を持っている。 自分や家族のために法令があることについて理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過去から現在までの自分をみつめ直し、自分の生き方についての課題を解決するために思考・判断できる。 自分にとって「家族とは何か」というテーマにもとづいて課題を見出し、解決策を考えることができる。 「家族に関する法律」の概要を、実生活の場面にあてはめて考えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の属する青年期は、長い生涯の一時期であることを認識し、「生きがい」をめざして意欲的に取り組もうとしている姿勢が見られる。 家族形態が多様化する中で、課題を明確にしつつ、家族・家庭の重要性について考えようとしている姿勢が見られる。 「家族に関する法律」の概要を、実生活の場面にあてはめて考えることができる。 日常生活と法律とのかわりについて関心を持ち、生活の充実・向上に結びつける努力をしている。 	○	○	○	12
<p>B 衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について理解する。 被服材料の性能に関する基本的な知識を身に付ける。 界面活性剤の働き、汚れの落ちるしくみが理解できている。 ミシン、アイロンの技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を考えることができる。 被服の洗濯に際して、洗剤や使用水量などを理解し、よりよい衣生活を創造していくことができるようになる。 これまでの洗濯を振り返り、よりよい洗剤の洗濯、使用方法の改善ができるようになる。 端ミシンを理解できるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持つ。 被服の表示から洗濯方法を考えることができ、これからの購入や管理に活かそうという意欲を高める。 被服製作を実生活に活かそうという意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服の素材 洗濯方法と表示 洗濯のしくみ 被服実習（エプロン・三角巾） 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 繊維→糸→織物・編物という加工過程、および繊維の種類と特徴について理解している。 被服材料の性能に関する基本的な知識を身に付けている。 界面活性剤の働き、汚れの落ちるしくみが理解できている。 ミシン、アイロンの技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな場面にふさわしい素材や布の種類を考えることができる。 被服の洗濯に際して、洗剤や使用水量などを理解し、よりよい衣生活を創造していくことができる。 これまでの洗濯を振り返り、よりよい洗剤の洗濯、使用方法の改善ができる。 端ミシンを理解できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服材料に着目し、何を材料にするかによって、また、「織り方」「編み方」によって外観や性能が異なってくることに関心を持っている。 被服の表示から洗濯方法を考えることができ、これからの購入や管理に活かそうという意欲が高まっている。 被服製作を実生活に活かそうという意欲が高まっている。 	○	○	○	9
<p>次世代をはぐくむ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期での、認知・情緒・言語面、運動機能面のいちじるしい発達を踏まえ、それぞれの発達過程を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の子どものころの様子を調べることで、自分1人で育ってきたのではないことを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体の発育・発達に関心を持ち、成長過程に見られる特徴を把握することに意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の心と体の発達 親と子のかかわり 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期での、認知・情緒・言語面、運動機能面のいちじるしい発達を踏まえ、それぞれの発達過程を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の子どものころの様子を調べることで、自分1人で育ってきたのではないことを理解できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 子どもの体の発育・発達に関心を持ち、成長過程に見られる特徴を把握することに意欲が見られる。 	○	○	○	4
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>衣生活をつくる</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミシン、アイロンの技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 端ミシンを理解できるようになる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服製作を実生活に活かそうという意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 被服実習（エプロン・三角巾） 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミシン、アイロンの技能を身に付ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 端ミシンを理解できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被服製作を実生活に活かそうという意欲が高まっている。 	○	○	○	9

